明石 科目基礎	5工業高等 磁情報	等專門学	交 開講年度 平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	都市景観計画				
<u> </u>		0026		科目区分	専門 / 遊					
74日留 <u>5</u> 授業形態		講義		単位の種別と単位						
開設学科			 都市システム工学専攻	対象学年	<u>東1</u>	L. Z				
開設期		後期	即中ノヘノムエナ寺攻	週時間数	2					
四欧河 教科書/教	∵tatat			四时间数	2					
担当教員		佐伯ラ	_ A- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	guily / 상대씨와 옷(T						
<u></u>		PEID 9								
(1)都市空 (2)景観の	空間を成立る D地域性を理 境の価値と	[解し読み]	内な仕組みと地形について理解ができる。 取ることができる。(G) :ついて理解できる。(H)	(F)						
ルーン:	シック		理想的な到達レベルの目安	 標準的な到達レ^		 未到達レベルの目安				
				保华的は判理レ/	いかり日女					
評価項目	1		都市景観の定義と専門用語を理解 し調査分析を充分居に行うことが できる。	都市景観の定義とし調査分析を行う	:専門用語を理角 うことができる。	都市景観の定義と専門用語を理解 し調査分析を行うことができない。				
評価項目	2		都市景観計画に関連する計画の 考え方、都市の諸課題と景観との調和手法について充分居に理解できる。	都市景観計画に関え方、都市の諸語 和手法について理	課題と景観との訓	考 都市景観計画に関連する計画の 考え方、都市の諸課題と景観との調和手法について理解できない。				
評価項目			都市景観計画の基礎調査を実施し 十分な結果を発表できる。	都市景観計画の基 結果を発表できる		がおける 都市景観計画の基礎調査を実施し 結果を発表できない。				
学科の	到達目標	項目との	関係							
学習・教	育目標 (F)	学習・教育	育目標 (G) 学習・教育目標 (H)							
教育方法	法等									
概要		基礎的	義では、都市景観を成り立たせている都 な計画理論を学習する。都市空間を読み おこなう。	市の空間構造という解き、計画および記	うところに着目! 设計の手法、全(し、景観の創造のために必要とされる 本を総合化する計画論を主な柱にして				
授業の進	 め方・方法	1,110,10	のこなり。 くりの見学を行うので、積極的に受講す	ステと						
注意点	<u> </u>	本科目	、 100元年で11700と、福岡のに文碑が は、授業で保証する学習時間と、予習・ 引に相当する学習内容である。 対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の	復習及び課題レポ-	- 卜作成に必要が	は標準的な自己学習時間の総計が、				
授業計画	画	•								
		週	授業内容		週ごとの到達目標					
後期		1週	景観の分類 〜景観とは、都市景観と 景観に関連する用語の意味や用法を整 基本用語の定義を学習する。さまざま 観を分類し、典型的類型に関して理解	:は 3理1, 使用する	景観を分類し、典型的類型に関して理解できる。					
		2週	景観と視覚 人間の視覚に関する基本事項について 置や環境的諸条件のちがいにより景観 えるかを明らかにする。	「学習し、視点位 ほがどのように見	視点位置や環境的諸条件のちがいにより景観がどのよ うに見えるか理解できる。					
		3週	街路の景観計画の事例 道路形状や街路樹をはじめ橋梁のデザ で、道路に関係した景観の分類と特性 基礎的事項を学習する。	「インにいたるま こを明らかにし、	街路の景観計画について理解できる。					
	3rdQ	4週	都市景観計画に関する法制度 都市景観を進める上で重要な行政手法 づく規制誘導策の基本を学習する。ま である助成事業等についても、事例を をおこなう。	た併行した施策	都市景観計画に関する法制度が理解できる。					
		5週	町なみ景観 形成の歴史によってさまざまな様相を 観の分類と特性を明らかにし、基礎的 。	注見せる町なみ景 事項を学習する	 町なみ景観の分類と特性と基礎的事項について理解できる。					
		6週	歴史的景観の保存・修景計画 歴史的景観の定義を明らかにし、歴史 周辺景観の形成に関する計画・設計手	的安糸の体行と	歴史的要素の保 計手法を理解で)保存と周辺景観の形成に関する計画・設 なできる。				
		7週	現地調査 グループに分かれて踏査した上で現状 おこない、ワークショップにより景観 る。	は写真調査などを 関的課題を抽出す	周査により景観的課題を抽出することができる。					
		8週	さまざまな景観論 研究分野により異なる景観の取り扱い なものを紹介するとともに、都市景観 観について議論する。	に関して代表的 計画のめざす景	都市景観計画のめざす景観について議論できる。					
	4thQ	9週	地形景観と自然景観の計画 国土計画や地方計画のレベルで意識さ な地形景観や自然景観の分類と特性を 礎的事項を学習する。	れる規模の大き 明らかにし、基	地形景観や自然景観の分類と特性を理解できる。					
		10週	神戸市の都市景観 都市の景観の分類と特性を明らかにす 都市に近接する市街地の基礎的事項を	ることでに、人 一	神戸市の都市景観と大都市に近接する市街地の基礎的 事項について理解できる。					

		11週	現地 グル・ おこっ る。		て踏査した上で現状 ショップにより景観	犬写真調査などを 規的課題を抽出す	調査を行い景観的調査を行い景観的調査を行い景観的調査を行いまままで	課題を抽出	出すること	だができる。	
12週			現地調査 グループに分かれて踏査した上で現状写真調査などを おこない、ワークショップにより景観的課題を抽出す る。				調査を行い景観的課題を抽出することができる。				
		13週	ニューう際	な景観の形成 ータウンなど などに必要な 礎的事項を学	新たな都市や市街地 新たな景観の形成記	也の建設をおこな 十画手法に関して	景観の形成計画手法に関して、基礎的事項が理解できる。				
		14週	レポート課題の実施 現地調査を含むレポート課題の成果を各学生が発表し 、質疑応答、議論をおこなう。				現地調査を行い、課題の成果を各学生が発表し議論することができる。				
	15週 			景観計画の今 における景観 が抱える課題 。学生の提案	後の展望 をめぐる話題を題材 を明らかにしながら や意見などを交えて	都市景観計画が抱える課題について、提案や意見など を交えて議論をおこなうことができる。					
	16週 期			試験実施せず	S	期末試験実施せず					
モデルコフ	アカリキ	コラムの	学習	内容と到			•				
分類 分野			学習内容 学習内容の到達目標				到達レベル 授業週				
評価割合				•	•				•	•	
レポート		レ	ポート	課題	態度	ポートフォリオ	その他		合計		
総合評価割合 25				5	50	0	0	0		100	
基礎的能力 0		0			0	0	0	0		0	
専門的能力 25		25		50	0	0	0		100		
分野横断的能力 0			0		0	0	0 0		0		